

目次

[概要](#)

[問題](#)

[インストールされる 120 G ライセンスのソリューション 1. ASR 9001-S クラスタ
間違って設定されるソリューション 2. ASR 9001-S IML フラグ
ソリューション 3。 2 ASR 9000 シャーシはクラスタを打ち込みます](#)

概要

この資料は「対応しないシャーシ型のエラーが表示する解説し、各問題にソリューションを提供したものですとき 3 つのシナリオを。

問題

ASR 9000 シリーズ 集約が保守するときルータは nV エッジ (クラスタ) 環境で起動されます、このエラーメッセージは表示する打ち切られるかもしれないし、ブートプロセス。

```
mbi_val_process_packet: received repsonse (rack 1)
Received do not boot message: [min ver: 00.00] reason 6
Don't boot reason: Incompatible chassis types
MBI Validation aborted
```

この「対応しないシャーシ型のエラーメッセージが表示されるかもしれない 3 つのシナリオがあります。ソリューション 3 はあらゆる ASR 9000 シャーシに適用されるが、ソリューション 1 および 2 は ASR 9001-S にしか適用されません。

インストールされる 120 G ライセンスのソリューション 1. ASR 9001-S クラスタ

このソリューションでは、2 ASR 9001-S シャーシがありますクラスタ化される。

1 つの ASR 9001-S が 120 G にアップグレードされたが、第 2 ASR 9001-S が 60 G を実行する場合、対応しないシャーシ型エラーメッセージは第 2 ルータが起動したあるときだけ表示する。

ルータが両方ともアップグレードされるように非互換性を固定するために、して下さい (120 G) またはアップグレードされない (60 G) 。

コマンドは操作上ライセンスがアクティブだったかどうか確認するためにライセンスがログ使用することができることを示します。

この例では、120 G ライセンスは正常に動作していません。

```
RP/0/RSP0/CPU0:ASR9001#show license log operational
#ID      :SDR      :FeatureID      :NodeID      :Time:      Log
```

```
15      :Owner      :A9K-9001-120G-LIC:0/RSP0/CPU0:Wed Oct 16 05:44:35 2013:
license_acquire: opaque_string (null), result('License Manager' detected the
'warning' condition 'Licensed feature does not exist')
```

この例では、120 G ライセンスは正常に動作しています。

```
RP/0/RSP0/CPU0:ASR9001#show license log operational
#ID      :SDR      :FeatureID      :NodeID      :Time:    Log
1        :Owner      :A9K-9001-120G-LIC:0/RSP0/CPU0:Sat Mar 15 00:22:09 2014:
license_acquire: opaque_string (null), result(No error)
```

間違っ設定されるソリューション 2. ASR 9001-S IML フラグ

このソリューションでは、クラスタに 2 ASR 9001-S シャーシがあり、どちらのシャーシも 120 G にアップグレードされませんでした (確認についてはソリューション 1 を参照して下さい) 。

この問題の原因は Ironman ライセンス (IML) 変数が ROM モニタ (ROMMON) の 1 に間違っ設定されることです。この変数は 1 にシャーシが 120 G にアップグレードされればしか設定する必要がありません。

この問題を解決するために、0 に IML 変数を設定して下さい。

```
RP/0/RSP0/CPU0:ASR9001#show license log operational
#ID      :SDR      :FeatureID      :NodeID      :Time:    Log
1        :Owner      :A9K-9001-120G-LIC:0/RSP0/CPU0:Sat Mar 15 00:22:09 2014:
license_acquire: opaque_string (null), result(No error)
```

ソリューション 3。2 ASR 9000 シャーシはクラスタを打ち込みます

このソリューションでは、2 つの異なるシャーシ型はクラスタにあります。

ASR 9000 nV エッジは別のシャーシがクラスタを形成しないようにしません。ブートアップフェーズでは、システムチェック クラスタリング ケーパビリティの為のシャーシ型。どの異なる組み合わせでも ASR 9010 から ASR 9922 または ASR 9001 から ASR 9006 のようなこの問題を、見つけることができます。

シャーシ型を確認するために、XR でコマンド `admin show diag シャーシ eeprom 情報か ROMMON で bpcookie コマンド` を入力して下さい。

この例は XR からの ASR 9001 のための出力を示したものです。

```
RP/0/RSP0/CPU0:ASR9001#admin show diag chassis eeprom-info
Rack 0 - ASR-9001 Chassis
  Controller Family : ef
  Controller Type   : 400
PID                : ASR-9001
```

この例は ROMMON からの ASR 9001 のための出力を示したものです。

```
rommon B1 > bpcookie
bpcookie:
  Controller Family : ef
  Controller Type   : 400
Product Number     : ASR-9001
```